

 代表理事 山本 万里	東京都 一般社団法人 セルフケアフード協議会 Self Care Food Council 	【データ】 2022年4月設立 ・理念:食による健康長寿社会の実現を目指す。 ・事業:スマイル100年、食による幸福な健康長寿社会の実現を目指して、単独の企業だけでは取組めない協調領域や、社会課題の解決について、会員企業やステークホルダーの皆様と精力的に取り組んでまいります。 【連絡先】 ・担当:事務局長 堅田 一哉 ・電話:03-3518-9470
---	--	--

食による健康長寿の実現を目指す 「セルフケアフード協議会」を農研機構と設立

■設立趣旨 本協議会の設立社員である(国研)農研機構及び(株)島津製作所は“食による健康長寿社会の実現を目指す”という理念の下、科学的な成分分析を基礎として、国民個人が健康になれる社会システムの提供や日本の農林水産食品関連産業の振興という目的を達すべく、公益性を重視し一般社団法人を2022年4月に設立。

■事業概要

- 1.統合健康栄養食品の運用に関する事業
- 2.国民の健康長寿に寄与する飲食品の開発を支援する事業
- 3.健康食品市場における国際連携に関わる事業
- 4.食に関わる国家的プロジェクト「第2期戦略的イノベーション創造プログラム(SIP2)」成果の窓口機能に関する事業
- 5.SIP2で実証中の大規模健康調査を発展させた『食』による認知機能解析拠点の会員企業の優先利用

■主要事業について

統合健康栄養食品（G-Plus食品）認証運用に関する事業



農水省関連法人(FAMIC)による民間認証制度を活用して、おいしく簡単に健康維持・食生活を改善できるセルフケア食、セルフケアデザインシステムの提供。

統合健康栄養食品G-Plus食品は機能性成分、栄養成分などの作用により、軽度不調を緩和することが期待される食品です。

国民の健康長寿に寄与する食品・飲料の開発を支援する事業

- 会員企業の協調的課題解決 -

島津製作所に設置した「食品機能性解析共同で、農研機構が開発した農産物の分析業務用に簡便・迅速・正確な分析技術を開発



京都NARO島津テストングラボ
の活用による商品開発支援



江別研究拠点
(北海道情報大学内)

健康食品市場における国際連携に関わる事業

農林水産省ODA支援事業の窓口であるASEAN事務局との連携により、今後、健康食品市場が拡大するASEAN諸国における会員企業の事業の振興を支援

自宅で G-Plus !

詳細はこちら▶



バランスの良い食事でセルフケアを サポートするG-Plus食品の普及活動



G-Plus食品とは、セルフケアフード協議会独自の認証スキームによる民間認証食品です。軽度不調と深く関係する栄養成分（ビタミン B6、ビタミンB1、ビオチン、パントテン酸、葉酸、ナイアシン、ビタミンA、β-クリプトキサンチン、β-カロテン、カリウム、マグネシウム、リン、鉄、亜鉛、銅、不溶性食物繊維、食物繊維）のうち、5成分以上で必要量を含有する、もしくは独自の臨床試験で検証した会員企業の製品が対象です。第三者機関によって認証された製品には「ジープラス (G-Plus) マーク」が表示されます。複数の食品成分で栄養バランスを整え、軽度不調を感じずにすこやかで満たされた生活が送れることを目指しています。

